

新年のご挨拶



理事長 中澤 護朗

平成29年の年明けにあたり、組合員そしてご家族の皆様には、ご健勝にて新年をお迎える事とお喜び申し上げます。

組合運営のなかで、療養給付費の増大、国に対しての納付金、支援金等の負担増に加え、国よりの補助金のカットと非常に厳しい状況下でしたが、皆様のお力添えで無事に年を越すことができました。ご協力に感謝申し上げます。

さて、当組合の年次予算は約59億円です。その内訳は歳入として皆様より納めていただく保険料が約74.6%の44億円、国からの国庫補助金が約22.8%の13億円、その他約2.5%の1.5億円。

歳出としては、医療機関の支払いと薬価が約57.3%の33億円。国に支出する後期高齢者、前期高齢者、介護の各支援金納付金等が約32%の18億円。人間ドック等の保健事業が約5.5%の3億円。その他事務所経費等が約2%の1億円になり、以上の内容の中で問題点が3点ほどあります。国庫補助金の歳入のカット、医療費の増大、各支援金等の増大です。

1. 国庫補助金のカット

32%の補助金が5年かけて20%にカットされます。全体から見ると12/32の-38%で約5~6億円の歳入減となります。

2. 医療費の増大

医療設備等の近代化に伴う医療費の高額化、高額な薬の使用に伴う薬価の高額化です。

3. 支援金等の増大

高齢化社会において、これは国全体の問題であり我々としてもこの負担を避けて通れないことです。

国全体の医療費が40兆円と発表されてすぐに29年度は43兆円になるという急激な伸びを示しています。これに対して国は、本人はもとより国、県、市町村の各行政そしてそれぞれ保険事業体にその負担を強いる事になっています。

このことは、当国保組合だけではなく、市町村国保、法人で組織する健保組合とすべての保険事業者の負担が大幅に増加をし、保険料の値上げにつながります。

来年度は皆様のご負担をお願いいたしますが、支出全体についても見直しを図り健全な運営を続けたいと思っています。厳しい時代ですが、皆様のご協力とご指導をいただければ乗り切れると確信しています。

年頭にあたりご協力をお願いして、ご挨拶と致します。

歳 入								単位：千円					
保険料	4,407,864	74.6%	国庫 支出金	1,347,670	22.8%	その他	152,227	2.6%	合 計	5,907,761			
歳 出													
保険給 付費	3,299,663	57.3%	支援金・ 納付金	1,850,200	32.2%	保健事 業費	314,995	5.5%	その他	288,939	5.0%	合 計	5,753,797